

おりなすシアター

あんのこと

主演 河合優実

監督・脚本:入江悠

© 2023『あんのこと』製作委員会
2024年/113分/PG12/日本



第49回エランドール賞新人賞
第48回日本アカデミー賞優秀主演女優賞
第98回キネマ旬報ベストテン主演女優賞
第67回ブルーリボン賞主演女優賞
第49回エランドール賞新人賞
おおさかシネマフェスティバル2025主演女優賞



あなたのそばにいた

彼女は、きつと、

佐藤二朗

稲垣吾郎

とき: **4月12日(土)** ①10:30~ ②14:00~

開場は各回30分前 ところ:おりなす八女 ハーモニーホール

【鑑賞料金】1000円 障がいをお持ちの方、中高生は500円 小学生以下は無料
おりなす友の会 800円 前売券はおりなす八女で発売しています。

 facebook

ホームページ



はじめて、
生きよう、と思った。

窓を開け、風を頬に受けて、
その先に広がる世界を肌で感じた。
そんな彼女の心を、
現実が容赦なく削り取っていく

21歳の主人公・杏は、幼い頃から母親に暴力を振るわれ、十代半ばから売春を強いられて、過酷な人生を送ってきた。ある日、覚醒剤使用容疑で取り調べを受けた彼女は、多々羅という変わった刑事と出会う。

大人を信用したことのない杏だが、なんの見返りも求めず就職を支援し、ありのままを受け入れてくれる多々羅に、次第に心を開いていく。

週刊誌記者の桐野は、「多々羅が薬物更生者の自助グループを私物化し、参加者の女性に関係を強いている」というリークを得て、慎重に取材を進めていた。ちょうどその頃、新型コロナウイルスが出現。杏がやっと手にした居場所や人とのつながりは、あっという間に失われてしまう。行く手を閉ざされ、孤立して苦しむ杏。そんなある朝、身を寄せていたシェルターの隣人から思いがけない頼みごとをされる――。

透徹した眼差しから浮かぶ この社会の歪み、生の美しさ

2020年の日本で現実起きた事件をモチーフに、「SRサイタマノラッパー」シリーズや『AI崩壊』の入江悠監督が映像化。19年のデビュー以来、数多の映画賞に輝き、TBS「不適切にもほどがある!」での熱演が話題となった最注目俳優・河合優実が、底辺から抜け出そうとがく主人公・杏を演じる。また、杏に更正の道を開こうとするベテラン刑事に佐藤二朗。

2人取材するジャーナリストに
稲垣吾郎と、実力派が脇を固めた。

さらに制作陣には、第75回カンヌ国際映画祭で「カメラドール特別表彰」を受賞した話題作『PLAN 75』（早川千絵監督）のスタッフたちが集結。本作は杏という女性を通して、この社会の歪みを容赦なく突きつける。同時に、単なる社会派ドラマの枠を超えて、生きようとする彼女の意志、その目がたしかに見た美しい瞬間も描き出す。そして静かに、観客に訴えかける。杏はたしかに、あなたの傍にいたのだと。



鑑賞料金

一般 1000円

障がいをお持ちの方、中学生は500円
おりなす友の会 800円 小学生以下は無料
前売券はおりなす八女で発売しています。

★主催・お問合せ先：八女で映画をみる会

☎090-5473-9968（平井靖文）mail：cinema.flower0219@gmail.com